

第29回全国車いす駅伝大会

2018年3月11日（日）に京都で第29回全国車いす駅伝競走が開催されました。
仙台市チームも大会に出場し都大路を駆け抜け、多くの人に勇気と希望を届けました！



（仙台市チーム）

今年は大会当日が3月11日と東日本大震災から7年、スタート前には黙祷を捧げて頂き大会主催者そして沿道からは多くのご声援を頂き皆さんの温かな心を感じながらのスタートとなりました。



（前日の様子セレモニーの様子）



（京都を駆け抜ける選手たち）

天気に恵まれましたが、風が有り思ったよりタイムも伸びず 1 区小松博志選手が懸命の走りながら 2 区高橋公博選手にタスキが繋げられず繰り上げスタート。その後、高橋公博選手が 3 区中嶋知春選手に、中嶋知春選手が 4 区小山敏光選手タスキを繋ぐが 5 区及川幸司選手にはルール改正（繰り上げ時間の 3 分前倒し）も有り、二度目の繰り上げスタートとなってしまう 1 : 0 6 : 5 7 と参加 23 チーム中 19 位と、今年目標を繰り上げスタート無くタスキを繋げゴールする事にしておりましたが残念な結果になってしまいました。

しかしながら、選手の皆さんは今持てる力を全て発揮し一生懸命都大路を駆け抜けました。選手の皆さん、役員・スタッフの皆さんお疲れ様でした。

仙台市チームも平均年齢丁度 5 0 歳と高齢化が進んでいますが、本大会の参加選手には最高年齢で 84 歳の選手もいます。まだまだ頑張らないといけないと同時に、新人選手発掘も急務となります。

タスキを繋ぐ、車いす駅伝。興味のある方はぜひ、共に京都を駆け抜けてみませんか？



（仲間の想いをつなぐ）